JSTQBのご紹介

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

アジェンダ

- ISTQB/JSTQBとは
- JSTQBの歩みと今後
- ISTQBソフトウェア資格認定制度
- Foundation Level
- Advanced Level
- 次回試験について

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

ISTQB/JSTQBとは

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

ISTQBとは

- ソフトウェアテストに関する国際的な資格認証を行う非営利団体
  - 2002年に設立
    - 1998年に開始されたUKのISEB資格認証を基に移行
    - 原加盟国はヨーロッパ8ヶ国
      - オーストリア、デンマーク、フィンランド、ドイツ、スウェーデン、スイス、オランダ、イギリス
    - 本部はブリュッセル（ベルギー）

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

ISTQBとは

- ソフトウェアテストに関する国際的な資格認証を行う非営利団体
  - 1国1ボード制度で民主的かつ透明性が高い運営がなされている
    - 年3回の総会（General Assembly Meeting）により意志決定される
      - 多くの分科会（WG）に分かれ企画・運営を行っている
    - 現在のプレジデントはオーストラリアのクリス・カーター氏が務める
  - 全世界でFL資格取得者が30万7000人を超えている（2013年6月末現在）

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

ISTQB資格認定の目的

- 国をまたいでテストのスキルを同等の基準で判断できるようにする
- テスト技術者が更に簡単に国をまたいで仕事をできるようにする
- 多国籍／国際的なプロジェクトがテストに関して共通の認識を持つようにする
- 世界的にテストの資格認定者数を増やす
- 一国だけでアプローチするより、国際的な基準を背景にすることで価値を持たせられるようにする

ISTQBテスト技術者資格制度 Foundation Level シラバス 日本語版 Version 2011.J02 付録Aより

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

ISTQB資格認定の目的

- シラバスなどを通して、国際的にテストへの理解と知識の体系を普及させ、全ての本資格認定に関わる人たちの知識レベルを上げる
- テストがプロフェッショナルな能力を必要とすることを多くの国々で普及させる
- テスト技術者が各国の言葉を用いて資格認定を取得できるようにする
- 知識とリソースを各国で分かち合うことができるようにする
- 多くの国が本資格認定に関わることによって、テストの人材と本資格の国際的認知度を高める

ISTQBテスト技術者資格制度 Foundation Level シラバス 日本語版 Version 2011.J02 付録Aより

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

多くの国が加盟しています

- ISTQBの加盟国は全世界で
  現在46ボード・70ヶ国で展開中！
  - 世界のGDPの90%、人口の75%をカバー

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

JSTQBとは

- ISTQBの加盟国として、日本国内で
ISTQBに沿った技術者資格認証を行う組織
  - ISTQB: International Software Testing Qualifications Board
  - 資格認証と、それに伴う各種認定業務を実施
  - 組織上は、NPO法人ASTER（ソフトウェアテスト技術振興協会）に所属
- JSTQB/ISTQBの活動を通して、
日本のソフトウェア技術者のテスト技術の向上に
貢献すべく活動中
  - 多くの技術者に資格認証を実施
  - JSTQB委員自身も問題を自ら問題を作成するなど
技術向上に日々努める
  - 日本のソフトウェアテスト技術者の
国際的プレゼンスの向上を目指す

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

JSTQB内の活動体制

- FL試験WG
- AL-試験WG
  - AL-TM
  - AL-TA
  - AL-TTA
- EL試験準備WG
- 国際連携WG
- マーケティングWG
- アクレWG
- シラバスWG

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

JSTQBの歩みと今後

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

年表概略

2005/ 3/25	JTCB（現JSTQB）発足
同年	シラバス翻訳
2005/12/14	Webサイトオープン
2006/ 1/31	CTFLトライアル試験実施（48名） （JaSST ‘06東京に併催）
2006/ 4	JSTQBに名称変更
2007/ 1	公認書籍出版（認定2007/3）
2008/ 4	公認研修コース開始（豆蔵様）
2010/ 8/28	CTAL（TM）トライアル試験実施（189名）
2010/10/12	ISTQB総会(GA会議）日本開催
2010/10/14-15	JSTQBカンファレンス開催
2012/ 8/22-24	公認研修コース開始（日本科学技術連盟様）

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

ISTQB総会（GA会議）＆JSTQBカンファレンス　開催

2010年10月
ISTQB総会（GA会議）　日本招聘

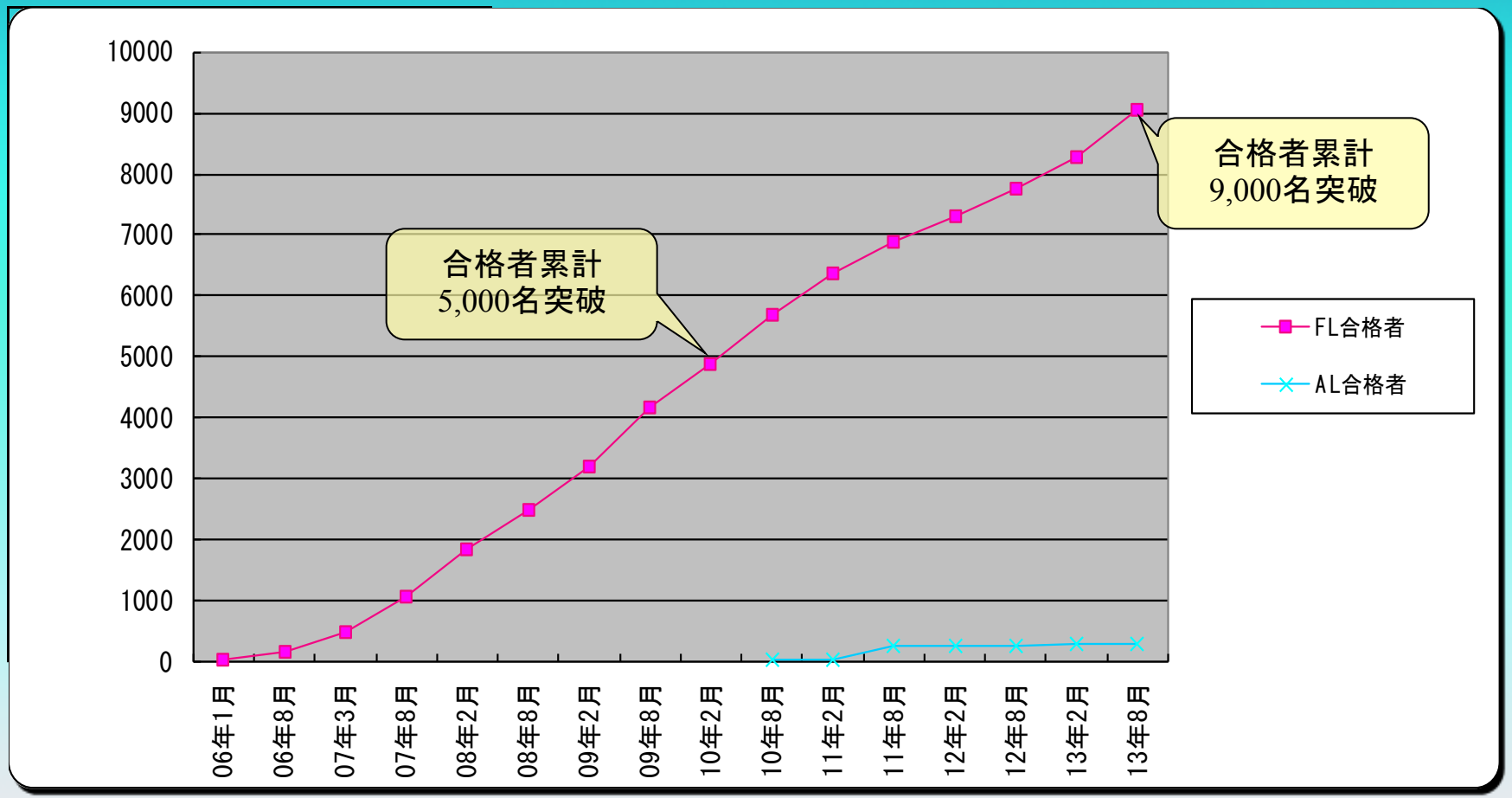
屋形船

東京観光

2010年10月
JSTQB主催　カンファレンス開催

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

CTFL、CTALの合格者の推移



(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

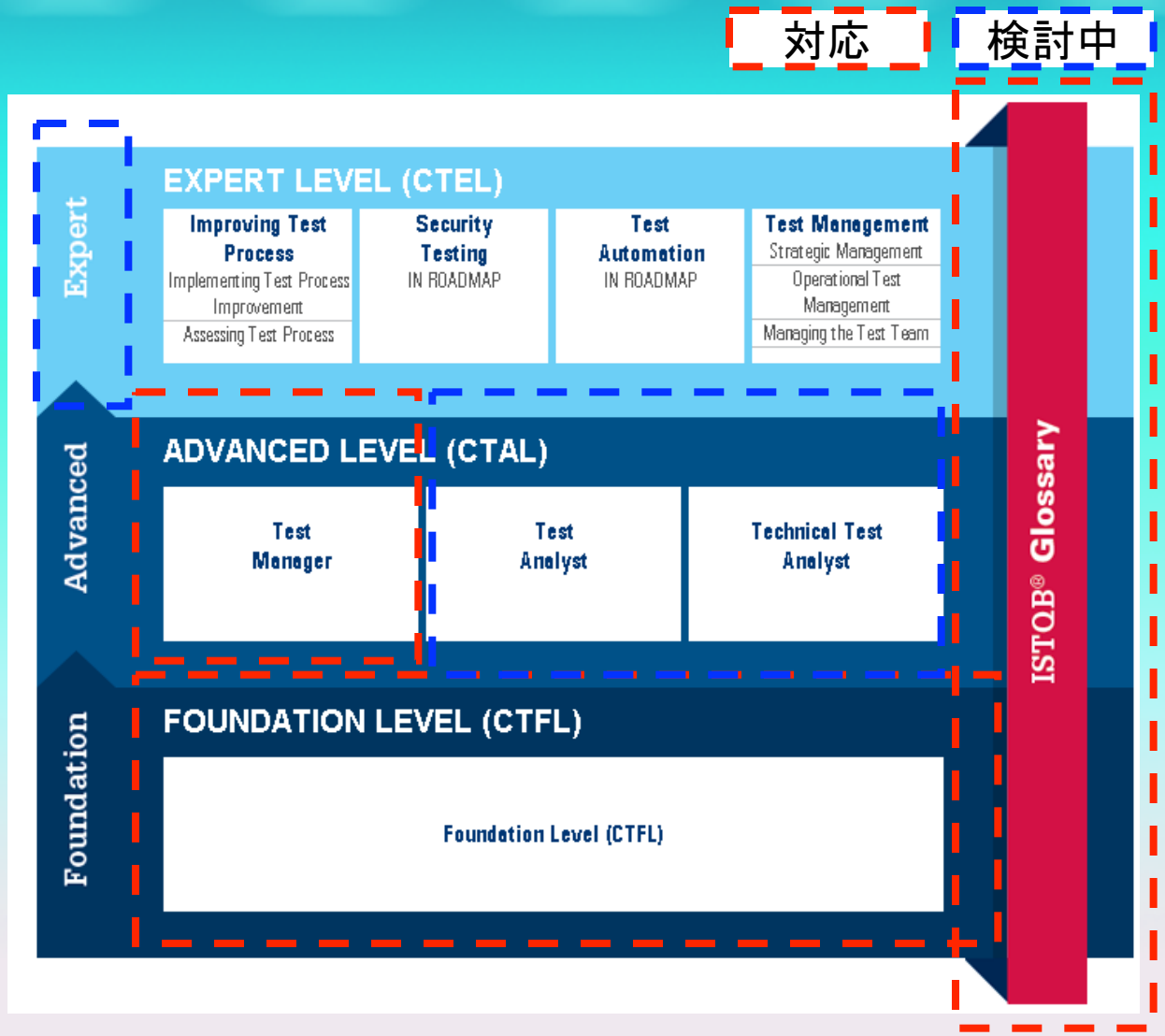
JSTQBのパートナーのご紹介

JSTQBの活動は、パートナーのご支援によって継続的な運営を可能としている

- アクレディテーション（公認研修コース）
  株式会社 豆蔵様
  一般財団法人　日本科学技術連盟様
- アクレディテーション（公認書籍）
  株式会社　翔泳社様
- 試験実施パートナー
  一般財団法人　日本科学技術連盟様

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

今後の予定



Partner Program

ISTQB Partner Program
International Software Testing Qualifications Board

- 日本での市場拡大（裾野の拡大）
- 広報活動／マーケット
- ISTQB総会の開催
- e.t.c.

と活動の場を広げていく予定

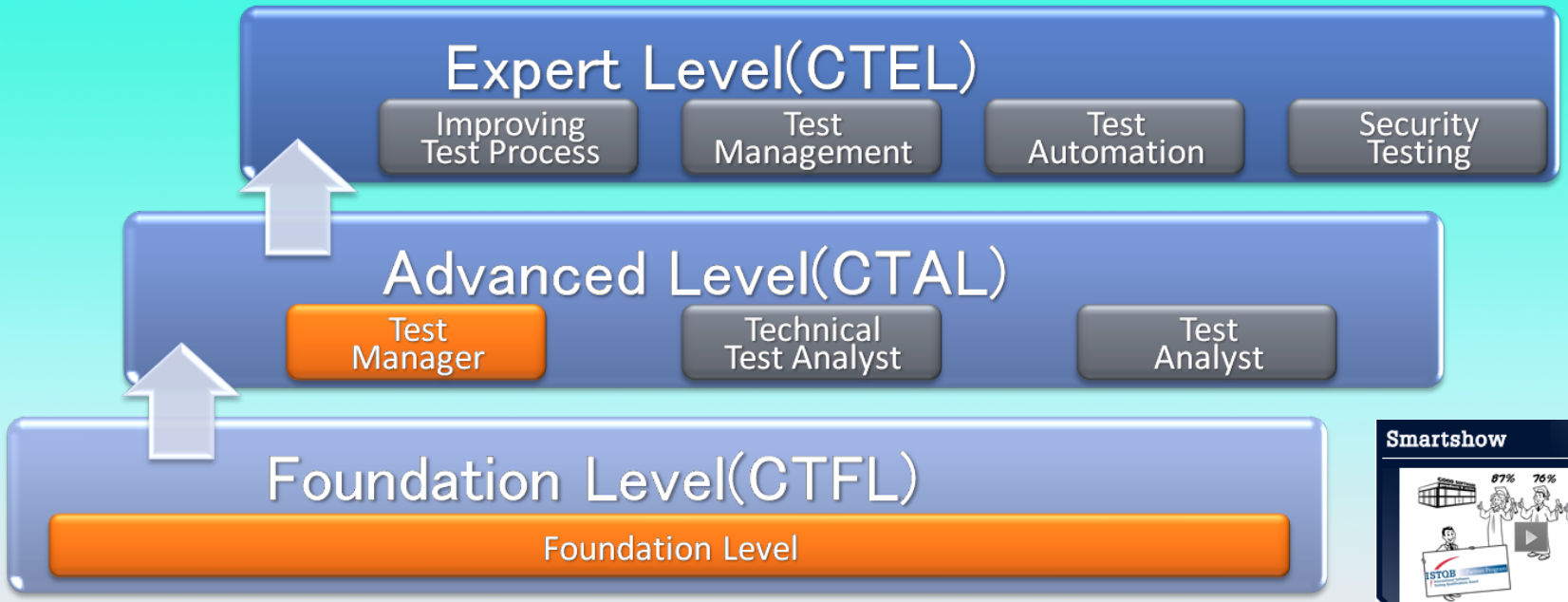
(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

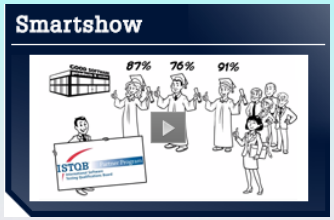
ISTQBソフトウェア資格認定制度

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

位置づけ

- ISTQBソフトウェア資格認定制度では、スキルレベルを三段階に分かれる





(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

知識のレベル

- K1（記憶レベル）
  - 用語または概念を認識し、記憶して、想起することができる。
- K2（理解レベル）
  - 課題に関連する記述について理由または説明を選択することができる。
  - テスト概念、テスト手順(タスクの順番の説明)に関して要約、比較、分類、類別することがでる。
  - テスト概念に関して例を挙げることができる。
- K3（適用レベル）
  - 概念または技法を正しく選択することができる。
  - それを特定の事例に適用することができる。

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

知識のレベル

- K4（分析レベル）
  - 手順または技術に関連する情報を分類し、理解しやすくするため各部分に分割し構成することができる。
  - 同時に事実と推論を区別することができる。
  - 典型的な適用例として、問題を解決するためやタスクを実行するために、ドキュメント、ソフトウェア、プロジェクトの状態を分析し、適した活動を提案できる。

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

Foundation Level

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

対象者

- Foundation Levelの資格は、ソフトウェアのテスト作業に関与する全ての人が対象
- 想定対象者：ソフトウェアテスト作業に関与するすべての人
  - テスト担当者、テストアナリスト、テストエンジニア、テストコンサルタント、テストマネージャ、ユーザ受け入れテスト担当者、ソフトウェア開発者
  - プロジェクトマネージャ、品質管理マネージャ、ソフトウェア開発マネージャ、ビジネスアナリスト、IT部門長、経営コンサルタント

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

試験範囲

※1：
FL：Foundation Level

- FLシラバス※1
  - FLシラバスに記述されている内容を含めて問題を構成
  - シラバスで使用されている用語と定義については「ソフトウェアテスト標準用語集」に従う

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

試験形式

- 実施形式
  - 試験時間　　：60分
  - 出題形式　　：複数の選択肢から正解を選ぶ形式
    複数の正解を選ぶ形式で出題される場合もある
  - 解答形式　　：マークシート記述式
  - 問題数　　：40問
  - 退出可能時間　：30分経過後／再入場　不可
  - 合格ライン　　：ISTQBの「ISTQB Exam Information」に従う
    http://www.istqb.org/downloads/viewcategory/6.html

- 受験時に持参が必要なもの
  - 受験票
  - 筆記用具　：　鉛筆・消しゴム

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

Advanced Level

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

対象者

- Advanced Levelの資格は、ソフトウェアのテストの分野で高度なレベルに到達している人が対象
- 想定対象者：ソフトウェアテスト作業に関与するすべての人
  - テスト担当者、テストアナリスト、テストエンジニア、テストコンサルタント、テストマネージャ、ユーザ受け入れテスト担当者、ソフトウェア開発者
- さらに、ソフトウェアテストへの深い理解を望む人々
  - プロジェクトマネージャ、品質管理マネージャ、ソフトウェア開発マネージャ、ビジネスアナリスト、IT部門長、経営コンサルタント

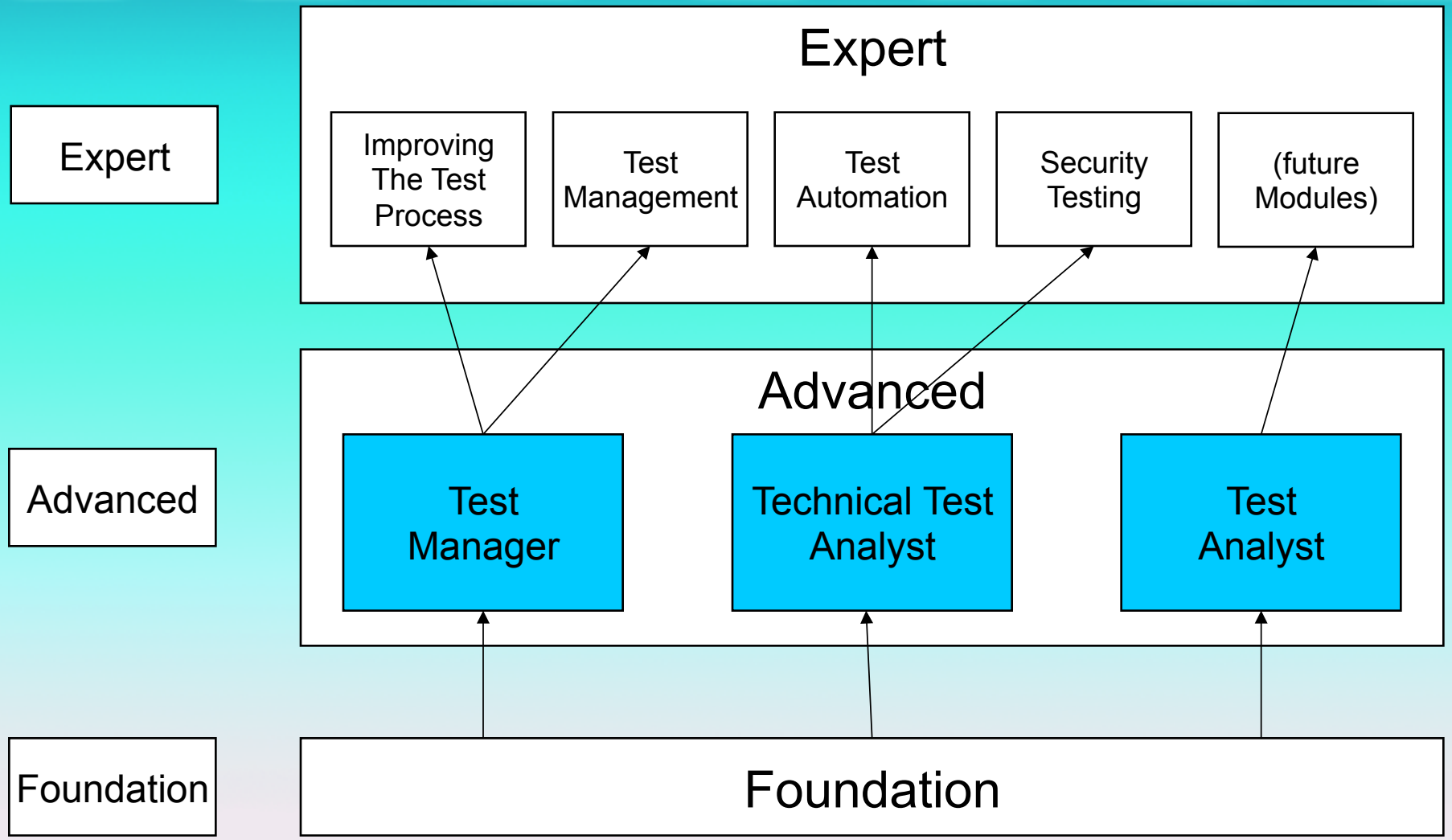
(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

資格種別

- Advanced Level認定は、主要な3つの資格種別において、組織内における代表的な基本的責務と期待されることについて試験する
- Advanced Levelの資格種別は次の3つ
  - Advanced Level テストマネージャ
  - Advanced Level テクニカルテストアナリスト
  - Advanced Level テストアナリスト
- 各資格種別は独立しており、共有または共通の要素は存在しない

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

資格種別とシラバス



ISTQBテスト技術者資格制度 Advanced Level シラバス 日本語版 概要 Version 2012.J01より引用

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

試験範囲

※1：
AL：Advanced Level
FL：Foundation Level

- ALシラバス＋FLシラバス※1
  - FLシラバスに記述されている内容を含めて問題を構成
  - そのため、FLシラバスに書かれている概念や技法を用いる問題が、出題される可能性がある
  - これらシラバスで使用されている用語と定義については「ソフトウェアテスト標準用語集」に従う
- ALシラバスには資格種別ごとに学習の目的がある
  - シラバスのリストには、K2・K3・K4レベルの学習目的のみを記載しているが、本シラバスのすべての箇所が、K1レベル、すなわち用語や概念についての知識として試験対象となる

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

Advanced Level　受験資格

- 次に示す1と2の条件をすべて満たす者

1. JSTQB認定テスト技術者資格Foundation Level資格の合格者
   - 受験申込書類に、認定書の写しの添付が必要
   - 認定書を無くした場合は合格証明書の発行を依頼して添付
   - 他国でFoundation Level資格に合格している場合も受験可
     →この場合も認定書の写し、または合格証明書の添付が必要

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

Advanced Level　受験資格

■ 次に示す1と2の条件をすべて満たす者

2.　下記業務に関して通算3年以上の経験とそれを示す「経歴書」提出が必要

- ソフトウェア開発に関する業務
- ソフトウェア開発のプロセス改善を含む品質保証に関する業務
- ソフトウェアの研究開発（R＆D）に関する業務
- ソフトウェアテストに関する業務

※業務経験3年は経歴書の内容で判断

→ご本人、または経歴書記載の連絡先に対して確認をする場合あり

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

試験形式

- 実施形式
  - 試験時間　　：180分
  - 出題形式　　：複数の選択肢から正解を選ぶ形式
    複数の正解を選ぶ形式で出題される場合もある
  - 解答形式　　：マークシート記述式
  - 問題数　　：65問
  - 退出可能時間　：60分経過後／再入場　不可
  - 合格ライン　　：　ISTQBの「ISTQB Exam Information」に従う
    http://www.istqb.org/downloads/viewcategory/6.html

- 受験時に持参が必要なもの
  - 受験票
  - 筆記用具　：　鉛筆・消しゴム

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

次回試験について

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

FL試験 実施要項

- 日時　　:2014年8月下旬
- 開催地域 :東京、名古屋、大阪　他(予定)
- 試験料　　:21,600円(税込)
- 主催　　:NPO法人ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)　JSTQB
- 試験実施 :一般財団法人 日本科学技術連盟

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

ALテストマネージャ試験 実施要項

- 資格種別　:テストマネージャ
- 日時　:2014年8月
- 開催地域　:東京、名古屋、大阪　他（予定）
- 試験料　:21,600円（税込）
- 受験資格　:次の1と2の条件をすべて満たす者とする
  1. JSTQB認定テスト技術者資格 Foundation Level資格の合格者
  2. 業務経験3年以上(経歴書の提出あり)
- 主催　:NPO法人ソフトウェアテスト技術振興協会（ASTER）　JSTQB
- 試験実施　:一般財団法人 日本科学技術連盟

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

皆様今後もどうか
日本のソフトウェアテスト
技術の向上のために、
JSTQBを
よろしくお願いいたします

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

ご静聴
ありがとうございました

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.

質疑応答

(c) 2014, JSTQB All rights reserved.